

多様な低気圧とその影響の包括的な理解に向けて

日本周辺では、中緯度の傾圧帯にモンスーン、複雑な海流や海陸分布などの影響が加わることでユニークな環境場が形成される。このことに起因して、爆弾低気圧、ポーラーロウ、梅雨前線低気圧等の様々な低気圧が発生する。さらに、熱帯低気圧が接近しやすい地域でもある。また、対流圏上層に目を向けると、切離低気圧（寒冷渦）等の活動も活発である。これらの低気圧は豪雨・豪雪や暴風を引き起こし、災害を誘発する。各低気圧については、それぞれの専門家によって研究が進められ、理解が深化していく傾向にある。一方で、様々な低気圧の共通点・相違点や関係性を整理したり、研究手法を共有したりすることは、低気圧の包括的な理解に貢献するだろう。本分科会では、多様な低気圧とその影響に関する研究成果を共有し、今後の低気圧研究の進展について議論する機会としたい。日本周辺に限らず世界中の低気圧（例えば、北極低気圧、モンスーン低気圧）に関する発表も歓迎する。

世話人： 平田英隆（立正大学データサイエンス学部） 本田明治（新潟大学理学部）
佐藤友徳（北海道大学大学院地球環境科学研究院） 枡本英伍（気象庁気象研究所）
柳瀬亘（気象庁気象研究所） 吉田聡（京都大学防災研究所）
渡邊俊一（気象庁気象研究所） 山本晃立（東京大学大気海洋研究所）

講演者	所属	タイトル
平田英隆	立正大学	趣旨説明
北畠尚子（招待講演）	気象大学校	総観～メソ α スケールの低気圧・前線の多様性と現業気象機関の解析における課題
高野 功	無所属	2009年2月20日に北日本周辺で併合し急発達した低気圧の解析
近藤亜美	九州大学大学院	急発達する爆弾低気圧の渦構造に及ぼす山岳の力学的影響
大野悠斗	三重大学生物資源学部	複数の再解析データを用いた洞爺丸台風の温帯低気圧化過程の解析
柳瀬 亘	気象研究所	台風の温帯低気圧化における温暖前線の強化
吉田聡	京都大学防災研究所	新青丸KS-24-10次研究航海で観測された梅雨前線低気圧に伴う水蒸気の流れ
伊藤純至	東北大学	日本域領域長期再解析RRJ-Convから抽出した 梅雨前線低気圧の統計解析
栃本英伍	気象庁気象研究所	梅雨前線帯低気圧の構造・発達過程に関する研究の現状と課題
休憩（5分程度）		
岡島 悟（招待講演）	東京大学先端科学技術研究センター	寒候期の東アジア・北太平洋のストームトラック活動と移動性(高)低気圧存在頻度の関係
嶺田龍之介	千葉大学大学院融合理工学府	秋と春における北太平洋ストームトラックの長期変化
木村祐輔	新潟大学大学院自然科学研究科	新潟県内に里雪をもたらす環境場の特徴について
本田明治	新潟大学	本州日本海沿岸平野部に大雪をもたらす北海道西岸小低気圧の役割
若尾和哉	北海道大学 環境科学院	水蒸気輸送を担う大気循環場の出現頻度が九州地方で発生する停滞性の強雨の経年変動に与える影響
森田直樹	三重大学大学院 生物資源研究科	黒潮 大蛇行に伴う暖水塊と冷水塊が紀伊半島の降水に与える影響
永坂郁也	富山大学	寒冷低気圧と背景環境場の関係についての事例解析
山本 晃立	東京大学大気海洋研究所	高渦位を伴う切離低気圧の維持に対する併合のエネルギー的な寄与
平田英隆	立正大学	総合討論

※招待講演15分（1鈴：10分、2鈴：12分、3鈴：15分）、一般講演10分（1鈴：5分、2鈴：7分、3鈴：10分）